

1. 北海道（地域別調査機関：（株）北海道二十一世紀総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-	
		一般小売店〔土産〕 （店員）	・秋のゴルフ客等、道外からの団体客が増加するとみられ、来客数が増加し、客単価も上昇する。	
		衣料品専門店（店員）	・3か月後は、秋物等の単価の高い商品が動き出し、客がレジャーにかけられるお金を洋服に使うことを期待している。	
		一般レストラン（スタッフ）	・先月に引き続き単価が堅調に推移しており、下落傾向から脱却した模様である。	
		旅行代理店（従業員）	・昨年の米国テロ事件の影響で手控えた客等の旅行需要の顕在化が期待できる。	
	変わらない	旅行代理店（従業員）	・9月の受注状況が好調である。	
		商店街（代表者）	・客の買い控え、低価格志向は変わる兆しが無い。	
		百貨店（売場主任）	・夏の売り尽くしセールの結果をみて、秋物を投入しているが、すでに定価では売れない状況であり、初秋から秋にかけても客は値下げを期待しているようである。	
		スーパー（企画担当）	・先行きの不透明感は依然として強く、客の購買行動にも大きな改善は期待できない。	
		コンビニ（店長）	・来客数は3年前の一番いい状態だった頃の水準に回復しているが、客の買物の様子を見ると、500円前後のお弁当よりも、低価格の280円や380円の小さなお弁当とカップラーメンの組み合わせで買う客が目立ち、客単価がなかなか上昇しない。	
		住関連専門店（営業担当）	・季節商材の売上が不振で、投売りや処分で売上が悪く、利益を圧迫する。	
		その他専門店〔医薬品〕（経営者）	・この2、3か月は昨年よりも売上が上回っており、現状よりも悪くなることはない。	
		高級レストラン（スタッフ）	・個人客は徐々に回復傾向にあるが、全体的にみると大きな変化ではない。	
		高級レストラン（スタッフ）	・個人客の動きは低調であるが、企業等の団体予約が若干増加している。	
		観光型ホテル（経営者）	・好調と不調が交互にくるこの数か月の動きからみて、今後の3か月についても変わる気配はない。8月の予約状況も例年と比べて大きな変化はない。	
		旅行代理店（従業員）	・客が品質よりも価格を重視する傾向が続いており、高額商品の販売が期待できない。	
		タクシー運転手	・市内ではタクシー会社が売買される動きがあり、業界が改善する見込みがたない。	
		やや悪くなる	スーパー（店長）	・各業界の業績悪化が想定されており、消費者の購買意欲が低下する。
			旅行代理店（従業員）	・夏休み後の秋期旅行の受注の出足が遅い。
タクシー運転手	・運賃を約1割下げて需要の掘り起こしを図っているが、なかなか効果が現れてこない。また、秋の漁業の目玉である秋刀魚は今年は形が小さく、漁獲量も少ないので期待できないという声を漁業関係者からよく聞く。			
観光名所（役員）	・来客数については増加が期待できるが、高額のツアーが増加する傾向になく、消費単価の上昇は期待できない。			
悪くなる	コンビニ（エリア担当）	・今後、公共工事の減少により、工事関係の客の減少が懸念される。		
	スナック（経営者）	・周囲で倒産する企業がある等、地域産業の業況が悪く、常連客も減少しており、飲食店経営者の私たち自身が瀬戸際にきている。		
企業 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-	
		家具製造業（経営者）	・家具産業全般は引き続き良くないが、高級品や高品質の商品に底固い動きがみられる。	
		通信業（営業担当）	・商談数や商談規模について好調を維持している。	
		通信業（営業担当）	・この2、3か月は受注量、価格ともに好調な状況が続き、安定している。	
		その他サービス業〔建設機械レンタル〕（総務担当）	・各地域の責任者の報告によると、機械の動きが上昇傾向にある。	
	その他非製造業〔機械卸売〕（従業員）	・官庁関係の入札が順調に始まり、仕事が出始めたため引合いが増加しており、価格は厳しいが出荷量の増加が期待できる。		
変わらない	食料品製造業（団体役員）	・安全性の問題等、食品関係に関する様々な問題が山積している中で、消費需要が伸びる要素がない。		

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		輸送業（支店長）	・メーカーの受注量に改善の兆しがなく、先行指標ともい べき資材関連も売上見通しが立たない状況にある。
		金融業（企画担当）	・公共投資の減少により、特に地方の中小建設業者に先行 きを懸念する声が強い。
		その他サービス業 [ 建 設機械リース ]（支店 長）	・公共工事の抑制傾向により、取引先を含め業界のマイン ドは依然として冷え込んでいる。
	やや悪くなる		
	悪くなる		
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	求人情報誌製作会社 （編集者）	・求人数が前年の同時期と比べて持ち直している。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・取引先等の状況を見ると、建設業では受注拡大要素がな く、流通業やサービス業も購入を手控える傾向が依然として 続き、売上確保は難しいと聞いている。
		求人情報誌製作会社 （編集者）	・基本的には大きな影響を及ぼす動きもなく、現状以上の活 性化は期待できないが、求人の冷え込みのピークも越えてい る。
	やや悪くなる	職業安定所（職員）	・会社整理等による求職者の増加が見込まれる。
	悪くなる	職業安定所（職員）	・事業主都合の離職者が増加しているが、求人数は全ての産 業で減少し、雇用はパートが主体である。